

令和5年度第1回（第20回）日立地域医療構想調整会議 議事録

- 1 日時 令和5年6月15日（木）18時から19時まで
- 2 場所 Web会議
- 3 出欠状況 別紙「出席者名簿」参照
- 4 進行 横倉議長
議事録署名人 星野委員、植草委員

5 議題

情報共有

(1)地域医療構想の進捗状況について

- ① 周産期医療について
- ② 救急医療について
- ③ その他

資料1

(2)新型コロナウイルス感染症5類移行後について

審議事項

(1)日立医療圏の医療機関状況報告について

(2)医師派遣調整に係る医師派遣要望調査について

資料2,3,4

(3)外来機能報告について

資料5,6

6 議事の概要

【情報共有】

2022年（R4年）の周産期医療体制、救急医療の状況、在宅医療資源の状況、2023年5月に感染症法における分類が5類に変更となって以降の新型コロナウイルス感染症の状況について、保健所より資料に基づき説明。

【審議事項】

(1)日立医療圏の医療機関状況報告について

やすらぎの丘温泉病院の療養病床削減予定、日立市心身障害者歯科診療所における非常勤管理者体制について、異議なく承認された。

(2)医師派遣調整に係る医師派遣要望調査について（3病院から説明）

北茨城市民病院（植草委員）

内科でなおかつ循環器・消化器の専門医、一般内科で救急を診てくれる内科医もしくは総合診療科医を2名希望させていただいた。他にも希望はあるが、日立医療圏全体で

人数に制限があるということなので2名にとどめた。

高萩協同病院（近藤委員）

産科が7月から常勤3名から2名になるため、日立総合病院から週2回で外来と手術の補助をいただくことになった。（当直回数の負担も考えると）当院の産科を維持するためには少なくとも産婦人科は4名必要である。

産科と救急の受け入れが当院のタスクになっているが、当院は院長副院長も含めた整形4名、内科2名、外科2名の計8名で急性期診療をしており、救急車の受け入れは年間1,000台をキープしている。しかし、県の修学生医師も自治医大義務年限医師も派遣されていない当院では、研修という点で、大学からも派遣はされにくくなっている。救急車の多少にかかわらず、急性期として病棟を維持し当直回数の負担も考えれば各チーム最低4名は必要であり、特に内科2名は必要不可欠である。内科がいなければ初診外来や救急車も受け入れられないため、かなり厳しい状況である。急性期を継続するために、必要な人数を計上した。

日立総合病院（渡辺委員）

当院では、緩和ケア、耳鼻咽喉科と放射線科が各々1名体制で診療しており、以前から各1名を派遣要望していた。

しかし、血液内科2名、呼吸器内科1名が今年度末に減員予定のため、現状維持で入院治療・外来を継続していくために、その分を優先して派遣をお願いしたい。

横倉議長

高萩協同病院について、産科は今年度0.2増となってしまったが、大学側においては、研修という点で、高萩協同病院は非常に難しい位置付けとなっている。日立医療圏としても救急と産科の医療体制は守っていかなければならない。

また、日立総合病院について、がん分野では緩和ケアが1名体制である。もう1名派遣していただきたい所であるが、血液内科2名、呼吸器内科1名が今年度末減員予定のため、そちらを優先して派遣をお願いしたい。

それぞれの病院の事情もあり、医師派遣の優先順位を付けることは難しい。また、大学側としても派遣する以上、派遣先の病院において研修の体制が整っていることが必要不可欠である。この問題は、3病院と詰めていく必要がある。基幹になる病院同士の連携をどう図っていくか、地域医療を全体でどう守っていくかを考えた上で、3病院と話し合いたい。

高萩協同病院（近藤委員）

日立医療圏全体への派遣を戦略的に狙うというなら、当院の派遣要望よりも、日立総合

病院の血液内科 2 名、呼吸器内科 1 名を優先するというには同意する。このような場で当院の実情を知ってもらえれば十分ということではないが、実際に派遣してもらうためには絞り込んでやっていくしかないと思うので、高萩は 0 名で同意する。

横倉議長

3 病院長の了解が得られたので、再度集まり話し合うこととする。

対象となる医療機関からの主な診療科別人員要望について共有した。6 月末に医療圏から提出にする際には、要望人数や診療科など医療圏としての優先順位を考慮する必要があるため、個別に調整のうえで提出予定とすることとなり了承を得られた。

(3) 外来機能報告について

昨年度の外来機能報告のうち、「紹介受診重点医療機関」となる意向の有無と、国の示す基準に合致しているかどうかについて、対象となった 4 医療機関の結果を共有した。

外来機能報告制度自体が昨年度初めて実施されたものであったため、4 医療機関に改めて「紹介受診重点医療機関についての意向」を確認し、現時点では「意向あり」の医療機関はなかった。但し、医師不足地域としてある程度の集約は既にされていることから特に異議は挙がらなかった。

(4) その他意見

慢性期病床の病床数が地域医療構想の当初計算上は過剰となっているが、医師・看護師をはじめ医療介護従事者不足が慢性的に続いている現状である。一方で急性期病院での治療を終えた後に自宅に帰れる ADL ではない患者の転院待ちが発生し、急性期病床が埋まっている実情を踏まえ、地域全体で考えるべき問題である。この地域で医療と介護、在宅がそれぞれ連携を強化していく必要がある。

地域医療構想調整設置要綱第 10 条に基づき、議事録署名人は、会長並びに会長が指名した、星野寿男委員及び植草義史委員の 2 名であるため、別紙内容について次に署名する。

令和 5 年 6 月 15 日

署名人

会長

提念総明

署名委員

星野寿男

署名委員

植草義史

令和5年度第1回(20回)日立地域医療構想調整会議委員等名簿

区分	所属機関・役職名	氏名	備考
保健医療分野	一般社団法人 茨城県日立市医師会長	星野 寿男	
	一般社団法人 茨城県多賀医師会長	横倉 稔明	
	一般社団法人 日立歯科医師会長	立原 正仁	
	一般社団法人 日立薬剤師会長	阿内 一彦	
	高萩薬剤師会長	菊地 勝	
	(株)日立製作所日立総合病院長	渡辺 泰徳	
	県北医療センター高萩協同病院長	近藤 匡	
	北茨城市民病院長	植草 義史	
	社会医療法人愛宣会 日立医療センター理事長 病院長	加藤 貴史	
	医療法人圭愛会 日立梅ヶ丘病院長	岡田 正樹	欠席
	医療法人芳医会 瀧病院長	瀧 慶治	
	特定医療法人社団 日鉱記念病院長	長南 達也	欠席
	医療法人聖麗会 聖麗メモリアル病院長	佐藤 明善	(代理) 副院長 粕谷 泰道
医療法人秀仁会 川島クリニック院長	川島 玲	(代理) 事務長 田村 信夫	
公益社団法人 茨城県看護協会日立地区理事	菅澤 裕子		
介護・福祉分野	社会福祉法人 日立市社会福祉協議会 常務理事	中村 修一	
	介護老人保健施設 田尻ヶ丘ヘルシーケア施設長	池村 康之	
者 除	日立市連合民生委員児童委員協議会長	宇佐美 吉郎	欠席
者 関	全国健康保険協会茨城支部企画総務部長	佐藤 洋	
係	日立市長	小川 春樹	(代理) 保健福祉部長 大窪 啓一
	高萩市長	大部 勝規	(代理) 健康福祉部長 小森 裕之
	北茨城市長	豊田 稔	(代理) 市民福祉部長 鈴木 克彦
学識経験者	日立市消防本部消防長	綿引 学	
	筑波大学医学医療系地域医療教育学教授	前野 哲博	欠席
所 健	茨城県日立保健所長	井澤 智子	